

つくるう 伸ばそう 鹿沼の文化

かぬま文化

No.162

発行人 鹿沼市文化協会
発行責任者 会長 山菅 昭八
編集委員会 委員長 鈴木 貢
印刷所 晃南印刷(株)

重点事業を全員で推進することを確認 平成30年度通常総会が開催される



山菅会長挨拶

5月19日土曜日、鹿沼市民文化センターにおいて

平成30年度鹿沼市文化協会通常総会が来賓及び会員等を合わせて115人という多くの参加者を集めて盛大に開催されました。来賓に、佐藤信市長をはじめ、関口正一議長、松井正一県議、木村剛考商工会議所会頭、大貫毅文教民生常任委員長、高橋臣一教育長、橋本美代子参与など多くのご臨席をいただくとともに、今年度は、宇都宮



受賞した前澤様



受賞した上野様

大学からも、地域プロジェクト演習として鹿沼市文化協会の課題に取り組んでいる地域デザイン科学部の学生5人が参加しており、例年にも増して、活

気あふれた総会となりました。開会前の呈茶席は、文化センターのギャラリ前に広がる「美を楽しむ空間」を広く使って行われ、来賓をはじめ多くの皆さんが

茶道部会の皆さんのお茶を楽しみました。総会は、会長挨拶に続き、今年度の文化功労者の表彰を行い、鹿沼民謡民舞連合会の前澤松代さんと、鹿沼吟詠剣詩舞会の上野セ

ンさんのお二人に長年の文化活動のご尽力に対して表彰状が授与されました。続いて、来賓を代表して、関口正一市議会議員、松井正一県議会議員、そして佐



佐藤市長挨拶

藤信市長の3名に祝辞をいただき、議事に入りました。議長は、本年も高岡正之

常任理事が満場一致で選出され、平成29年度の事業及び決算報告、平成30年度の事業計画及び予算、役員の改選の各議案が提案され、活発な議論がされました。

30年度の事業計画の決定の中で、今年度の重点事業を「当協会の活性化を推進するために、会員自ら活動を展開して、芸術・芸能等文化の振興を広く市民に呼びかけ、参加と協力を求めよう。」とする方針を掲げ、会員みんなで活動していくことを確認しました。また、役員改選の議論の



議長の高岡様

中では、鈴木貢常任理事から人事面でより活発な意見を集約するよう、役員選定にあたる組織の設置が提案され、役員を選出する過程を明確にする規定を整備していく方針が承認されました。

総会後に行われた恒例となる講演には、昨年度の栃木県芸術祭洋画部門で芸術祭賞を受賞した大門勉氏による「木版画に



講演する大門様

筆遊会	2
鹿沼市書道連盟	2
絵手紙鹿友会	3

告知板	3
鹿沼市民文化祭開催日程	4
編集後記	4

こめて」と題する講演が行われ、ご本人が趣味とするランニングと版画を通じての出会いや交流について、ご自身の秀逸な作品のスライド投映とともに熱く語られ、参加者から多くの拍手を受けました。大門さんには、これからも版画とランニングにさらなるご活躍を祈念したいと思います。

【平成30・31年度役員】

会長 山菅 昭八
副会長 小林 守

常任理事
鈴木 貢(新)
日笠 勝子
宇賀神勝明
鈴木 清樹
若月 里子
池田 宗静
高岡 正之
前田 成彬(新)
荒井 慧
板橋 和子
齊藤 雅世(新)
高橋 進

植野春林先生を偲んで

筆遊会 代表 茂木 キク子

偉大なる植野春林先生に師事して月に2回勉強して参りました。体調が思わしくなくなっても極限まで指導して下さいました。

先生は、常にユーモアをまじえ優しさの中に厳しさを合わせもち基本から指導して下さいました。

平成27年3月13日に亡

大きなお腹で身体を動



かしながら先生の筆は魔法にでもかかったかのよう

に自由自在に書いているそんな姿が今となつては目に浮かびます。誠に残念極まりありません。

亡くなられた後、有志のみで名前を替えなんとかのりきり今日に至っております。先生亡き後もこの会を継続させて行きたいと思つてゐる次第です。

又、この度若い先生を迎え雰囲気も変わり「継続は力なり」をモットーに励んでおります。趣味の生涯活動として会を盛り上げていこうと精進しているところです。

北押原コミュニティセンターにて第1、第3木曜の午後2時から筆に遊び時には、世間話にもりあがり楽しい時間を過ごしております。

入会ご希望の方は気軽に声をかけて下さい。お待ちしております。

連絡先

090-3245-9009
茂木キク子

早春の書展会場から

鹿沼市書道連盟 副会長 須永 令子

第17回 鹿沼市書道連盟展を、3月9日(金)より11日(日)まで、鹿沼市文化センター多目的ギャラリーで開催しました。

木蓮の白い蕾みが淡く青い空にやさしく映えて確かな春の訪れを告げています。今年もまた桜の花に巡り会える。3月の書展はいつも生きて在る命のいとおさと、書を学べる感謝からのスタートです。

兼目悠久会長の、穏やかで温かいご指導のもと、漢字・仮名・近代詩文・臨書、そして篆刻と会員皆様の心を尽くされた作品が、みずみずしく掲げられています。

何より嬉しく、誇りに思うことは、鹿沼市文化センターの展示会場の充実して美しい事です。そして、展示にあたって、市民文化センターの職員の方々がお力をお貸し下さり、会場の作品ひとつひとつの言葉が集い、寄り添い合つて、見渡



すと会場いっぱいに一足早い春の回廊が出来上がっているのです。一同、ほっと一息、嬉しい笑顔が溢れます。書を学ぶ同志の輪がもう一つ大きく広がります。

会期中は、鹿沼市在住の皆様をはじめ、宇都宮市・日光市・栃木市・小山市・と、遠くから来訪頂き、兼目会長を囲んでの有意義な書談義の場となりました。

結びに私事です。亡き師は、「書は絵画・音楽・文

学を含む総合芸術である。書かれた文字の後ろから物語が映し出され、音楽が流れてくるような、そんな書をかける人にならなさい。」とおっしゃってりました。

いつの日か、そんな作品が作れるのだろうか。道は遙か遠くても、こんな壮大な言葉を残して下さいました師への感謝と尊敬の思いは募るばかりです。生きるとは命を燃やすこと。共に書を語り学び合える方が一人でも多く集えるよう、皆様の書道連盟へのご加入を心からお待ちしております。

市制七十周年にちなんで

絵手紙鹿友会 会員 山崎 イク

今年、鹿沼市は昭和23年の市制施行から七十周年を迎えた、記念すべきお祝いの年になります。

現在、町中では多才多芸に溢れた様々なイベントが開催され活気に満ち溢れています。

私たちの『心耕す絵手紙展』は、11月9日、10日、11日に鹿沼市文化活

し絵手紙に描き展示します。市民、県民の皆さんはもちろん、遠く県外からお越し下さる皆さんにも鹿沼市の良い所をたくさんお伝えしたいと、出展関係の皆さんと考えました。

また、鹿沼市は平成28年11月に市の果実を『いちご』と制定し、『いちご市』を宣言しました。

いちご市からの絵手紙

が全国各地にそれぞれの想いを乗せて元氣よく発信され、その想いにこたえるように心温まる絵手紙が次々と全国から返信され帰ってくる。絵手紙は絵のある手紙。ある時は人を励まし力づけ、時には元氣をもらい喜びを共に分かち合えるものとなるでしょう。

これから、鹿沼市はいちごの町として躍進していきます。多くの方々に

今まで以上に、鹿沼市を覚えていただけたらと思います。

市制七十周年……。私たちも元氣で住みやすい町鹿沼のますますの発展をめざし、『心耕す絵手紙展』とともに一生懸命努力していきたいと思っています。



告知板

鹿沼市制70周年記念事業
鹿沼市民文化祭第40回記念
鹿沼市文化協会第10回文化セミナー

「ちばてつや講演会」

●マンガの持つ力を未来へ●

期 日 平成30年9月29日(土)午後1時30分

会 場 鹿沼市民文化センター大ホール

入場料 無料(整理券が必要です)

整理券配布場所 鹿沼市文化協会事務所(鹿沼市民文化センター3F)
鹿沼市民文化センター・鹿沼市民情報センター受付

【ちばてつや】漫画家、文星芸術大学特別栄誉教授
日本漫画家協会理事長

代表作：「あしたのジョー」、「あした天気になあれ」、「のたり松太郎」、「みそっかす」など多数

第40回 鹿沼市民文化祭開催日程

- ◆開幕式 9月29日(土)午後1時30分 鹿沼市民文化センター 大ホール
 ●記念講演 ちばてつや講演会「マンガの持つ力を未来へ」
 ◆PR展示 9月24日(月・振休)～10月14日(日) 鹿沼市民文化センター ふれあいの広場

事業名		期 日	会 場
ホ ー ル	演 劇 祭	10月14日(日)	鹿沼市民文化センター・小ホール
	カラオケ発表会	10月21日(日)	鹿沼市民文化センター・大ホール
	三 曲 大 会	10月21日(日)	鹿沼市民文化センター・小ホール
	民 謡 民 舞 大 会	10月28日(日)	鹿沼市民文化センター・大ホール
	音 楽 祭	10月28日(日)	鹿沼市民文化センター・小ホール
	謡 曲 大 会	11月 3日(土・祝)	御殿山会館・和室
	日 本 舞 踊 大 会	11月 4日(日)	鹿沼市民文化センター・小ホール
	吟 詠 剣 詩 舞 大 会	11月23日(金・祝)	鹿沼市民文化センター・小ホール
	ダ ン ス	12月 2日(日)	鹿沼市民文化センター・大ホール
ギ ャ ラ リ ー	押し花アート展	10月12日(金)～14日(日)	鹿沼市民文化センター・多目的ギャラリー
	日 本 画 展	10月12日(金)～14日(日)	文化活動交流館・ギャラリー
	書 道 展	10月26日(金)～28日(日)	鹿沼市民文化センター・多目的ギャラリー
	総 合 工 芸 展	11月 3日(土・祝)～4日(日)	文化活動交流館・ギャラリー
	マンガ・イラスト展	11月 9日(金)～11日(日)	鹿沼市民文化センター・多目的ギャラリー
	絵 手 紙 展	11月 9日(金)～11日(日)	文化活動交流館・ギャラリー
	洋 画・彫 塑 展	11月16日(金)～18日(日)	文化活動交流館・ギャラリー
	写 真 展	11月23日(金・祝)～25日(日)	文化活動交流館・ギャラリー
生 活 文 化	フラワーデザイン展	10月20日(土)～21日(日)	鹿沼市民文化センター・ふれあいの広場
	華 道 展	10月27日(土)～28日(日)	文化活動交流館・ギャラリー
	茶 会	11月 4日(日)	鹿沼市民文化センター・大会議室・和室
文 芸	短 歌 大 会	10月 8日(月・祝)	鹿沼市民文化センター・大会議室
	俳 句 大 会	10月 8日(月・祝)	鹿沼市民文化センター・中会議室
	川 柳 大 会	10月21日(日)	鹿沼市民文化センター・多目的ギャラリー
	作 品 公 募	短歌・俳句・川柳・創作・詩	
	文 芸 表 彰 式	11月23日(金・祝)	鹿沼市民文化センター・大会議室

編集後記

ギャラリー部門のなかから、今回は絵手紙の山崎イクさん、書道連盟・筆遊会の茂木キク子さん、書道連盟副会長の須永金子さんに、それぞれの活動状況や思いを書いていただいた。それぞれの表現活動作品は、主に視覚に関わり、見るものであり、言語化するには多少もどかしい思いが伴ったのではなからうか。しかし、読み伝える言語作品としても、充分に意は果たされているものと思います。

人の五感にとって美とは何か、言語にとって真善美とは何か。第六感というのは言語感ではないか。五感を統合し、時空的制約を超えて他者に発信できるのは、人間が創出した言語である。文芸部門に関わり、言葉の道に取り組んでいる者として、他の芸術分野に取り組んでおられる方々に、是非、言語機能の力を活用して頂き、相互交流したいものです。

(編集委員 小林 守)

◇編集委員会◇

鈴木 貢 小林 守
 前田 成彬 廣田 忠
 板橋 和子